



←①銅粉末

購入後、未開封のものを使う。300メッシュ程度。

上が良品。粒に金属光沢がある。下は古くて100メッシュほど。金属光沢が失われているもの。

開封後は酸化が進行しないよう配慮する。試薬びんのせんの部分をテーピングして密閉し、さらに冷蔵庫に保管しておく。

実験に用いるときは常温にもどしてから使用する。

↓②銅粉は薬さじでうすく広げる。

この写真の量で0.5gほど。多くても1g以下で実験する。

加熱は5分間で1回きり。途中ででき混ぜたり、冷やして再加熱をしたりしない。



←③加熱器具はガスコンロで

加熱は5分。火勢は弱火。

加熱中は描きまぜず、ただ観察するのみ。

ガスバーナの弱火でも同じことができる。

ガスコンロの方が、炎の当たる面積が広い。何より、器具の設置や操作が簡単な方がいい。

↓④グラフ処理をさせるためのワークシート

グラフ用紙をA3判に拡大し、さらにパウチして班ごとにホワイトボード用マーカーでまとめさせる。

